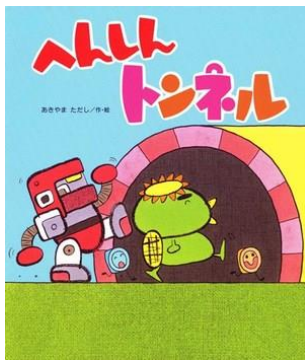


テーマ「へんしん！」

ヒーローやヒロインなど「自分ではないものに変身したい」
誰もが一度は、こんな願いをもったことがあるのではないのでしょうか。

①こんな「へんしん！」もあるんですね。



「へんしんトンネル」

あきやまただし／作（金の星社）

ある日、あらわれた不思議なトンネル。
同じことばをくり返してとなえながら、トンネルをくぐると、あら、不思議。意外なものに変身してしまいます。変身にもいろいろあるけれど、この本で言葉の変身を楽しみませんか。

②何にでも「へんしん！」できる。そんな魔法をつかえたら・・・

「さいごのまほう」

中島和子／作 秋里信子／絵（金の星社）

年をとると、魔女は魔法が使えなくなるんですって。そのことに気づいたひとりぼっちの魔女は、「いいもの」に変身しようと決めました。きれいな「スマレ」に変身しても、誰も気づいてくれないし、自由に空を飛びたくて、「鳥」になると、大きなタカに追いかけるし・・・もう大変。さて、魔女は、変身したい「いいもの」を見つけられるのでしょうか。



③力をあわせて「へんしん！」するとこんな奇跡が！



「スイミー」

レオ=レオニ／作 谷川俊太郎／訳（好学社）

「スイミー」は、小さいけれど勇気のある魚です。ある日、おそろしいまぐろにきょうだいたちを食べられてしまい、ひとりぼっちに。美しい海の中を泳ぐうちに、元気を取りもどすスイミーは、きょうだいそっくりの魚たちに出逢いますが、みんな大きな魚がこわくて隠れています。大きな魚に負けないために「スイミー」が考えた変身とは・・・。

～ このテーマで紹介したいその他の本 ～

「ロバのシルベスターとまほうの小石」

ウィリアム・スタイグ／さく せたていじ／やく（評論社）